

報 道 資 料

平成31年4月16日

福祉医療部企画管理室企画調整係

担当：小西、高橋

ダイヤルイン：0742-27-8641

内線：2956、2957

“小さな灯”^{ともしび} 基金 贈呈式の開催について

大阪ガスグループは、昭和56年から“小さな灯”^{ともしび}運動として、企業ボランティア活動を展開されており、その活動の一環として、地域の福祉向上に役立つ物品の寄贈活動を継続されています。〈資料1〉

本年度は、筒井寮、登美学園、中央こども家庭相談センターおよび精華学院に対し、総計10万円相当の物品を寄贈していただくことになりました。

つきましては、下記のとおり贈呈式を開催します。

記

【日 時】 平成31年4月22日（月） 午後1時～1時30分

【場 所】 奈良県庁本庁舎3階 福祉医療部長室

【寄贈品】 家電製品等（資料2参照）

【出席者】

〈寄贈者〉

大阪ガス（株）	奈良地区支配人	速水 英樹 様
	同副支配人	杉本 暁 様
	東部・奈良地域共創チーム 課長	真鍋 義人 様
	ネットワークカンパニー北東部導管部	
	地域共創グループ	岡下 二三代 様

〈受贈者〉

奈良県	福祉医療部長	西川 浩至
	こども・女性局長	橋本 安弘

【内 容】 目録の贈呈

※取材を希望される場合は、社名、氏名等を4月19日（金）までに福祉医療部企画管理室企画調整係までご連絡ください。

別添資料

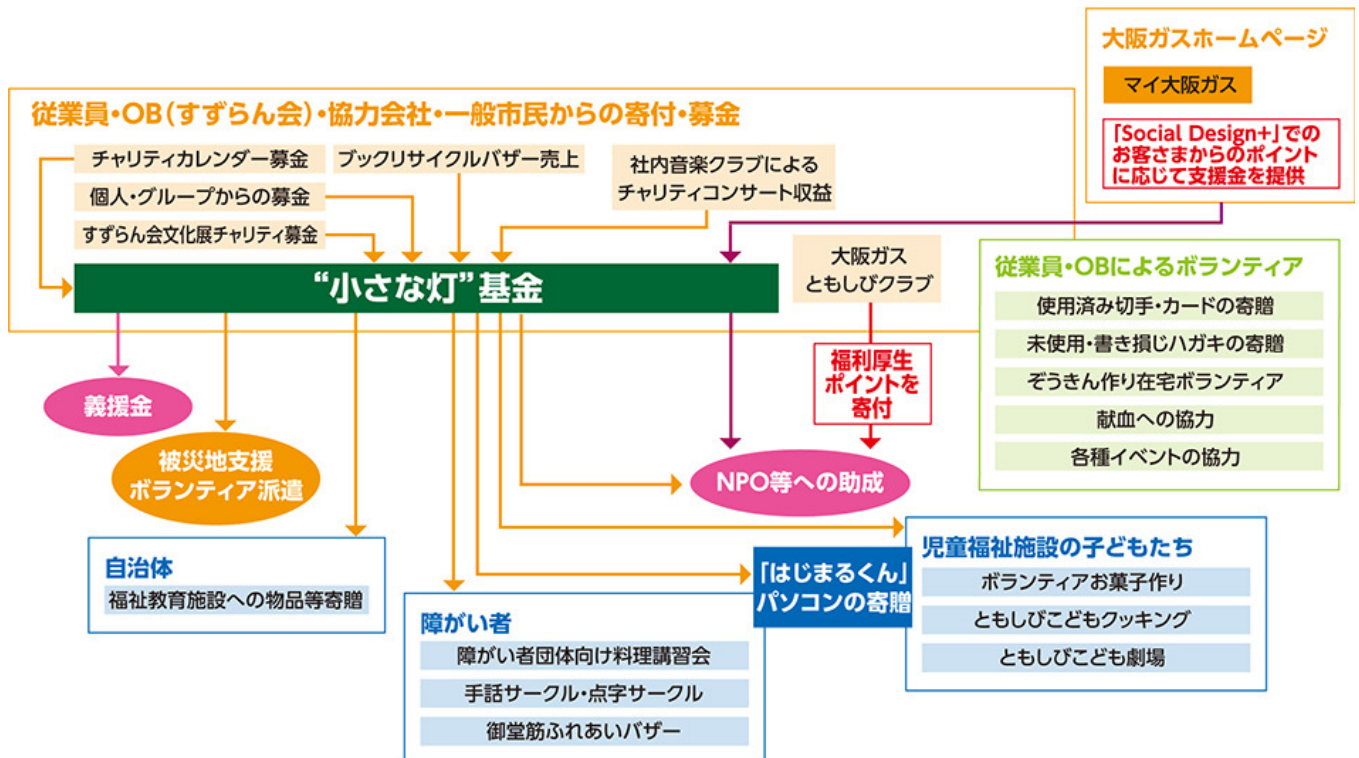
〈資料1〉大阪ガスグループ “小さな灯”運動の概要

〈資料2〉大阪ガスグループ “小さな灯”運動 「小さな灯」基金からの寄贈物品の概要について



- “小さな灯運動”は、昭和56年（1981年）の国際障害者年に、大阪ガスグループ各社と従業員等からの寄付で発足した社会貢献活動。
- 「私たち一人ひとりが身近なことに関心を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」という考え方に基づき、社員が自主的に活動を企画し、参加し、続けていく点が、運動の特徴。
- 発足後30年以上にわたって、児童福祉施設の子どもたち、高齢者、障がい者、災害被災者等への支援活動を継続。
- “小さな灯”基金は、“小さな灯”運動の開始と同時に創設され、災害義援金や社会的課題に取り組む団体への財政支援に役立てられている。

▼ “小さな灯”運動のスキーム



大阪ガスグループ小さな灯運動 「小さな灯」基金からの寄贈について

所属名等	金額（税込）	寄贈品	備考
奈良県立筒井寮	24,194円	非常用備蓄食品（4種類） 非常食安心セット9食（アルファード食品）、マジックライスエビピラフ20袋入り（サタケ）、保存食そのままご飯カレーライス30袋入り（ミドリ安全）、ビスコ保存缶1缶（江崎グリコ）	災害に備え、児童の非常用備蓄食品として活用する。
奈良県立登美学園	22,572円	デジタルカメラ（1台） ニコン 形式：COOLPIXW 100BL CDラジオ（1台） ソニー 形式：ZS-RS81BTC	海での宿泊研修での児童の写真撮影時に、防水機能付きデジタルカメラを活用する。 プレイルームでの音楽鑑賞、災害時の情報収集にCDラジオを活用する。
奈良県中央こども家庭相談センター	27,000円	ポータブルDVDプレーヤー（2台） Wizz 形式：DVPW1400	児童の情緒の安定を目的とし、居室におけるDVD鑑賞に活用する。
奈良県立精華学院	25,900円	バレーボール（5点） ミカサ 形式：MVA400	児童の健全な育成を目的とし、部活動及び体育の授業に活用する。
計	99,666円		